



個人投資家向け 会社説明会

2019年6月9日(日)

新家工業株式会社
(証券コード：7305)

【第1章】	当社の概要	3
【第2章】	強み・特長	16
【第3章】	アラヤのこれから	24

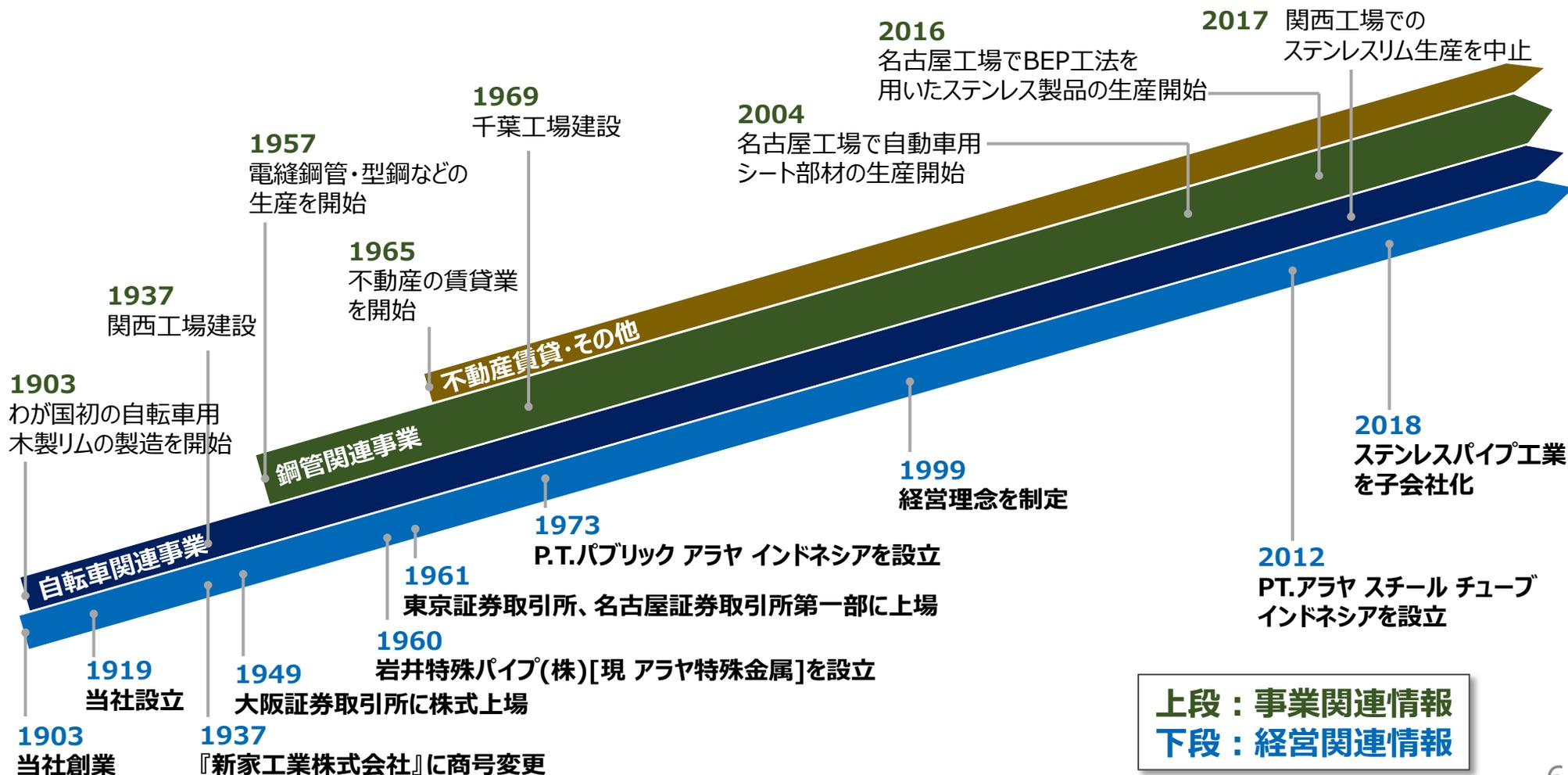
【第1章】 当社の概要

社名	新家工業株式会社 (ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD.)
創業	1903 (明治36) 年 6月
設立	1919 (大正8) 年 11月
代表者	代表取締役社長 井上 智司
本社	大阪府大阪市中央区南船場2丁目12-12
資本金	39億4,000万円 (2019年3月末現在)
連結業績	●売上高：432億56百万円 ●経常利益：22億35百万円 (ともに、2019年3月期)
従業員数	●連結：509人 ●単体：277人 (ともに、2019年3月末現在)
主な事業内容	●鋼管製品の生産・販売 ●自転車部品の製造及び完成車の販売
グループ会社	●連結子会社：5社 (国内3・海外2) ●非連結子会社：2社 (国内2) ●関連会社：1社 (国内1)
株式関連情報	●証券コード：7305 ●市場：東証1部 ●業種：鉄鋼業

- 常に技術と品質の向上に努め創造と革新に挑戦する
- 公正かつ誠実に企業運営し社会の発展に貢献する
- 自然と調和し国際社会と共生する
- お客様を大切にし株主・取引先との相互繁栄をはかり従業員の福祉向上を目指す

人と暮らしの幸せのために技術ができること、技術者ができること。その無限の可能性をアラヤは創業以来ずっと追求し続けています。

時代変化に対応し、自転車用リムの製造から鋼管事業が主力へ



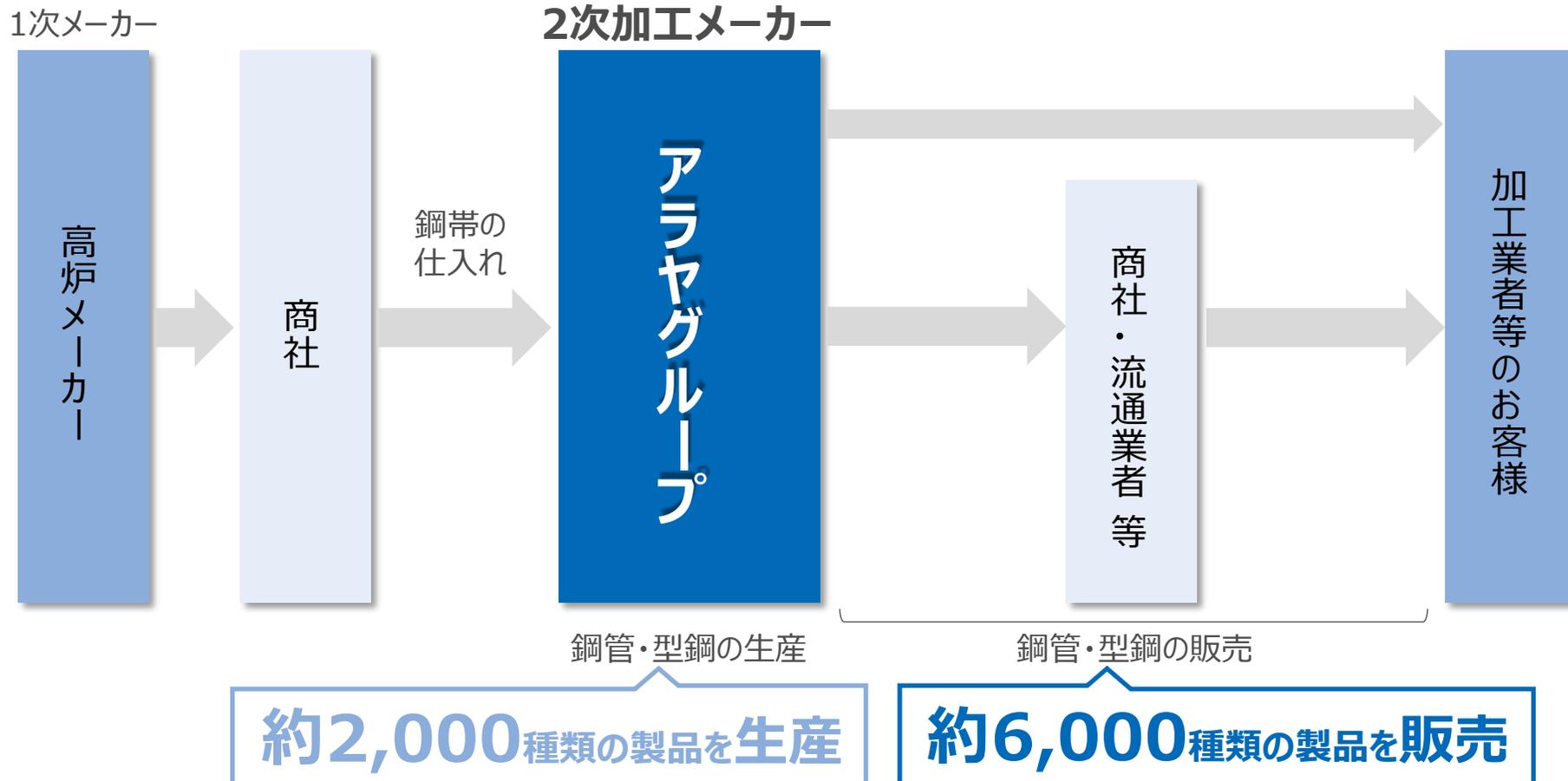
上段：事業関連情報
下段：経営関連情報

事業の紹介 鋼管関連事業 ①



当社は、鉄鋼業の中で高炉等の製造製品から鋼管・型鋼を生産する2次加工メーカー

【ビジネスモデル】



事業の紹介 鋼管関連事業 ②

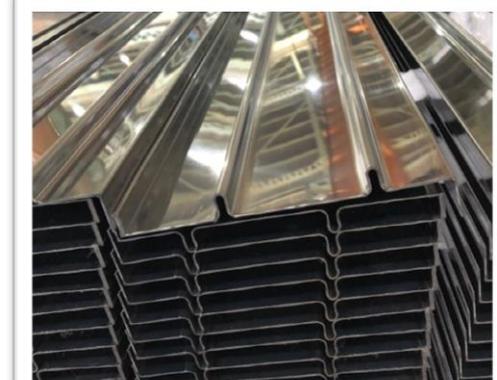


【生産、取扱製品】 鋼管（パイプ）では、普通鋼の小径～中径サイズ（丸管、角管）が主力

普通鋼
（鉄）



ステンレス



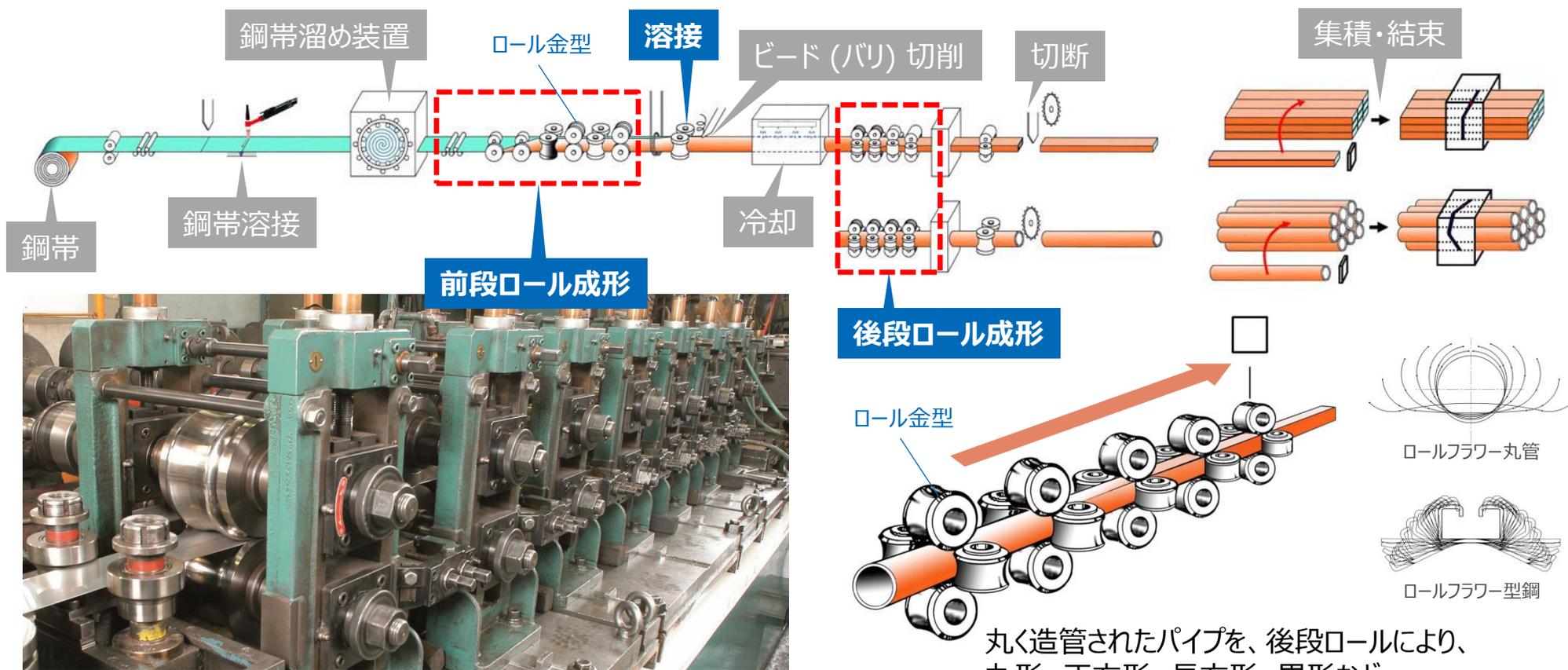
パイプ類

型钢類

事業の紹介 鋼管関連事業 ③



【鋼管・型鋼の生産方法】 ロールフォーミング



連続設置されたロール金型により、鋼帯を順番に曲げて行き、良い溶接を得るために、円形に成形

丸く造管されたパイプを、後段ロールにより、丸形、正方形、長方形、異形など得たい形状に成形

事業の紹介 鋼管関連事業 ④



【こんなところにもARAYA】

当社の鋼管製品は、住宅用の柱材、家具や門扉をはじめ、ビルの内外装や建材、店舗の什器、手すり、フェンス、自動車のシートやエンジンまわり、物流機器、施設園芸部材、福祉施設器具など、幅広く利用されています

公共施設



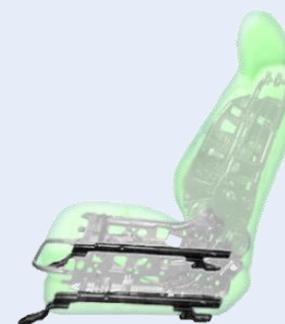
京セラドーム（大阪府）



あやとりはし（石川県）

自動車

シートレール



その他



車止めポール



物流パレット



マンションフェンス



伸縮門扉

事業の紹介 自転車関連事業 ①



- 創業品の自転車用リムの製造・販売
- 趣味性の高い*¹ 自転車を専門店を中心に販売
(アラヤブランドのほか、英国「ラレー社」のブランド*² を展開)



『2台にまさる、この1台』



Muddy Fox



*¹ スポーツ性の高いロードバイクやクロスバイクなど

*² 当社で設計・販売

事業の紹介 自転車関連事業 ②



- 技術要求が高いプロ向けでも高い評価を獲得
⇒ (例) ガールズケイリン向けにディスクホイールを供給



自転車用リム



断面図



ディスクホイール

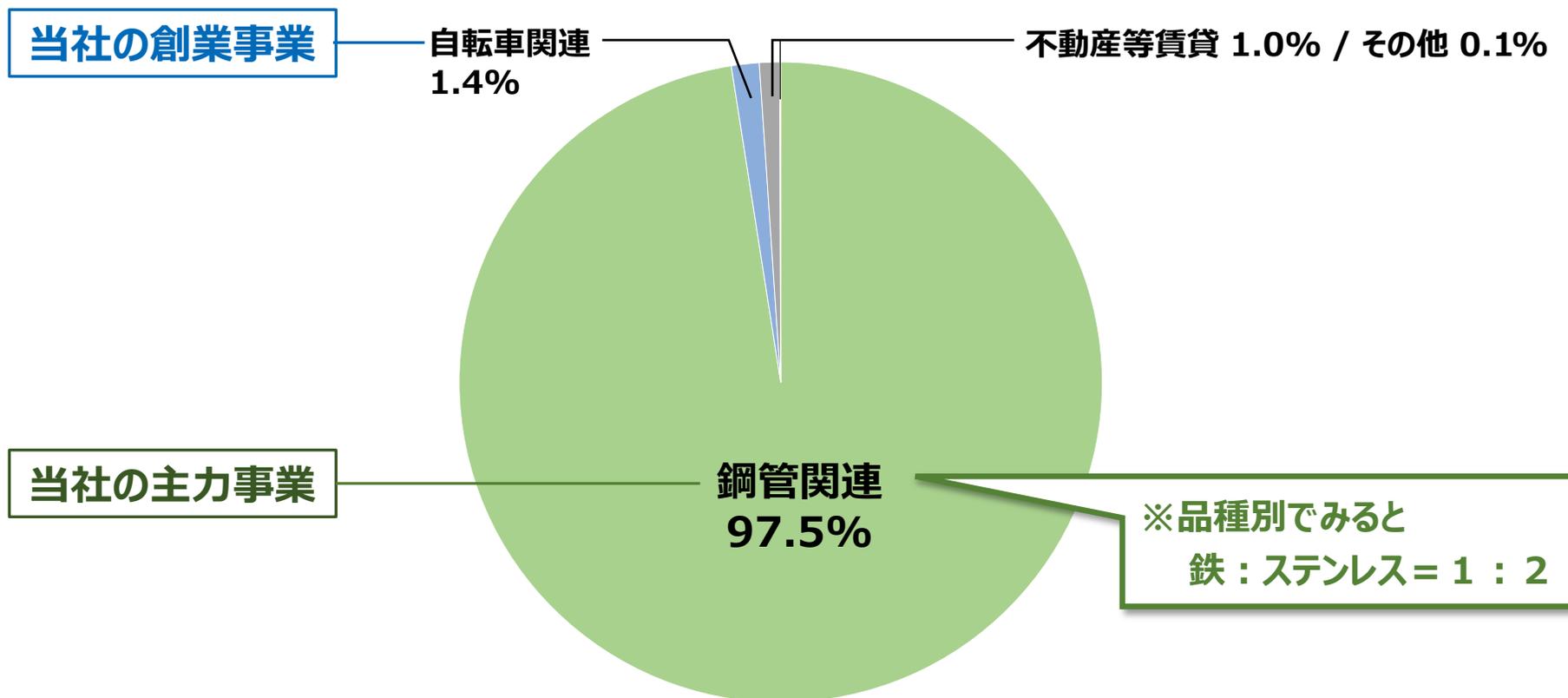
主な当社グループの拠点



- 新家工業株式会社
- アラヤ特殊金属株式会社・・・ステンレス製品の販売
- 大栄鋼業株式会社・・・普通鋼鋼管の製造
- ステンレスパイプ工業株式会社・・・ステンレス鋼管の製造・販売
- ▲ P.T.ARAYA STEEL TUBE INDONESIA・・・鋼管の製造・販売
(インドネシア等のアジア向け)

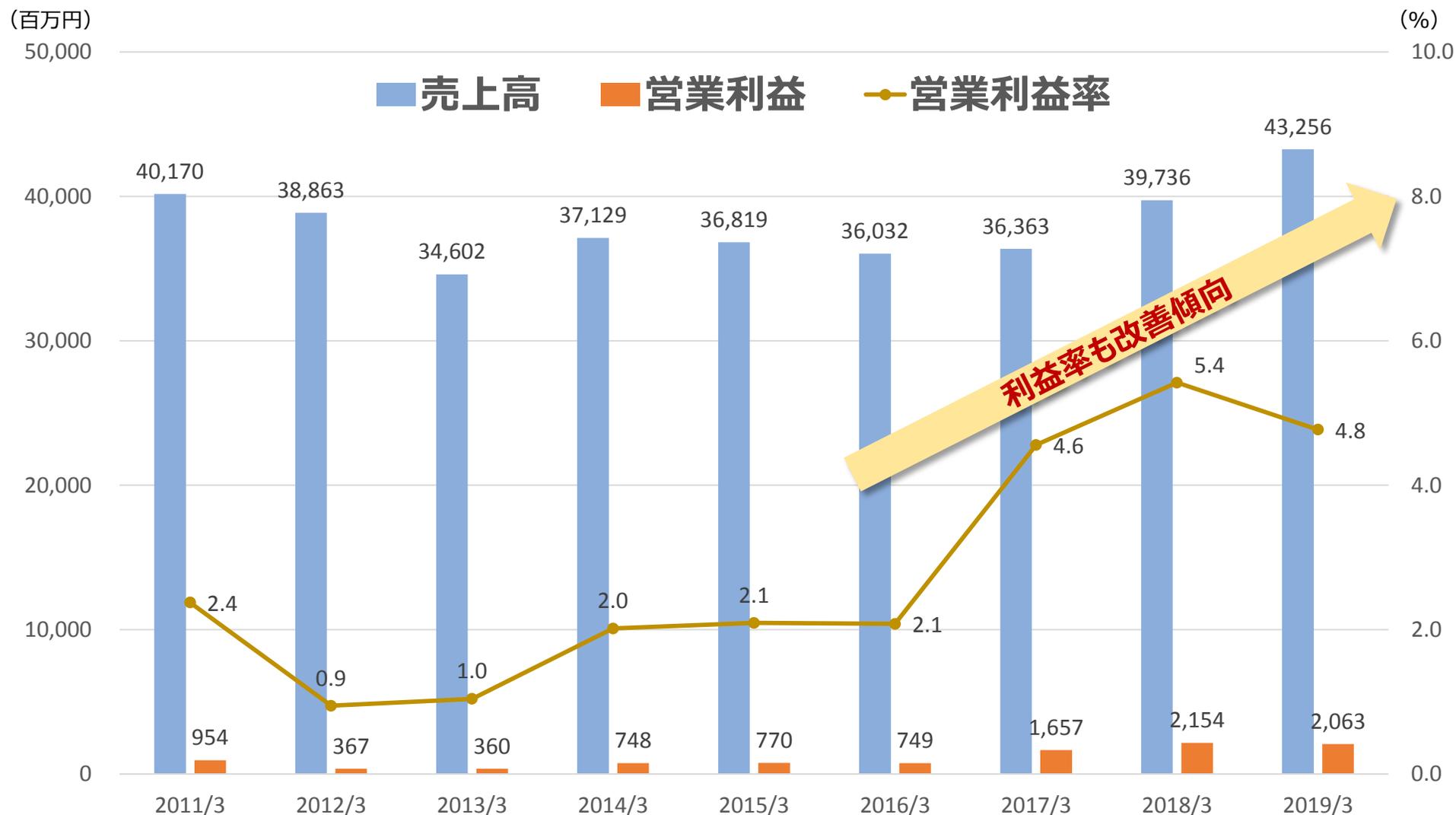


事業別売上高構成比



2019年3月期連結売上高
43,256百万円

長期の業績推移



【第2章】 強み・特長

① 技術力

ロールフォーミング

② 物流力

個別配送（アラヤ特殊金属）

③ 財務力

安定した財務体質

ロールフォーミング技術の強み

プレス成型に比べて…

- ・複雑な形状の実現が可能

※ トラックへの使用例



ロールフォーミング技術の強み

プレス成型に比べて…

- **長尺物の生産に有利**
(トラックの荷台向け 等)
- **高いコストパフォーマンス**
(生産速度、材料への対応、金型費用等の面で有利)
- **安定した品質**
(多段階で生産状況の確認、調整が可能)

ロールフォーミング技術の強み

さらに当社は…

- ・技術の確立から100年超で培ってきたノウハウ
(1914年にロールフォーミングで金属製リムの製造に成功)
- ・ロール金型を独自の技術により設計

技術力、製品開発力の更なる向上

“世の中の課題をカタチにかえる”

アラヤ特殊金属(株)の強み

各拠点の配送センターから全国への即納体制を業界で初めて確立（小ロット納品にも対応）

【主な販売品目】

- ステンレスパイプ（角管・丸管）
- フラットバー、丸棒、
アングル・チャンネル等の条鋼類
- その他ステンレス製品



アラヤ特殊金属(株)の強み

配送実績 全国で **約30,000件**



オペレーター

>>>>



入力画面

>>>>



出荷作業 (写真は大阪SC)



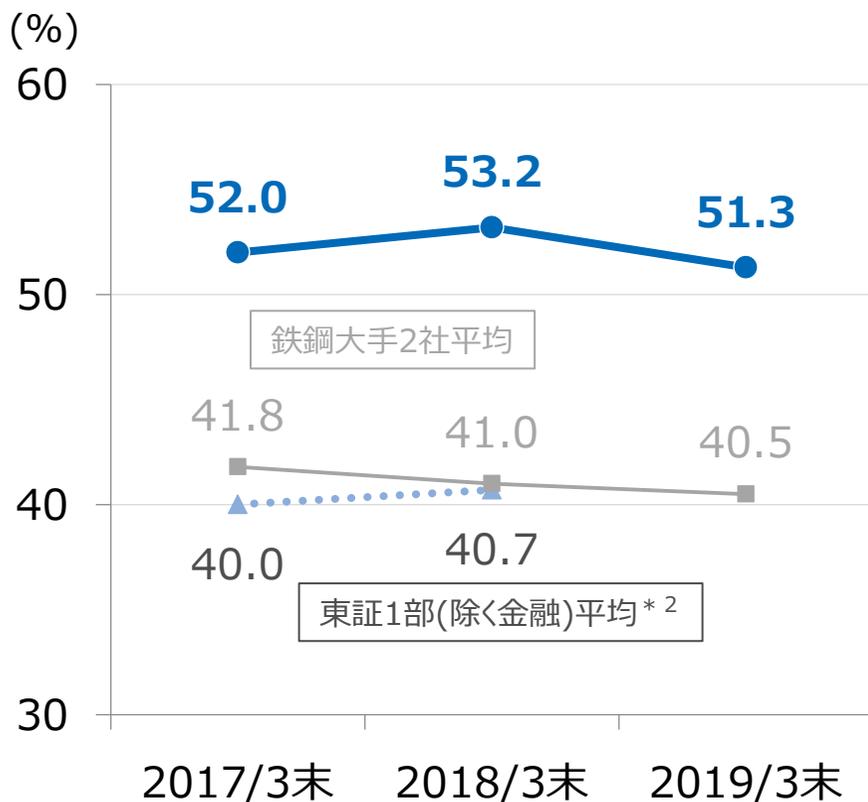
>>>> 出荷 (自社トラック)

ステンレスパイプ・条鋼類 取扱数量 **シェア約40%**

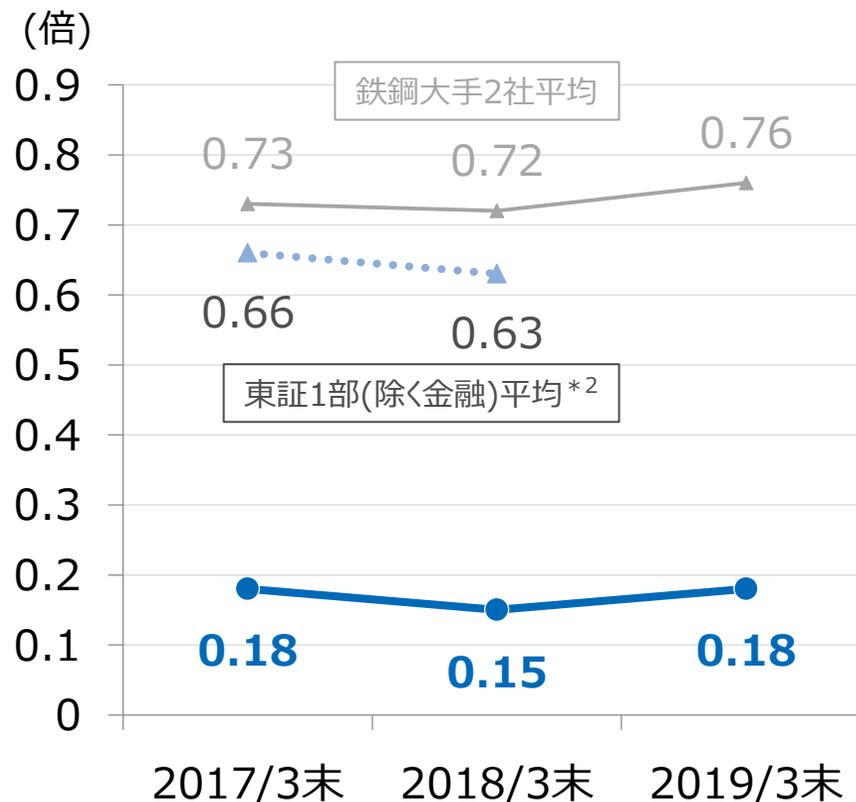
強み・特長③ 財務力：安定した財務体質



自己資本比率



D/Eレシオ*1



*1 D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 ⇒ 倍率が低いほど財務体質の安全性は高い

*2 銀行業、証券・商品先物取引業、保険業、及びその他金融業を除いて計算

【第3章】 アラヤのこれから

直近の決算実績と今期の業績予想



(百万円)	2018/3期	2019/3期		2020/3期	
	実績	実績	前期比(%)	予想	前期比(%)
売上高	39,736	43,256	+8.9	43,500	+0.6
営業利益	2,154	2,063	△4.2	1,900	△7.9
経常利益	2,283	2,235	△2.1	2,000	△10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,576	1,502	△4.6	1,200	△20.2
1株当たり 当期純利益 (円)	285.03	271.75	---	215.39	---

国内需要の動向

【足元】

首都圏の再開発

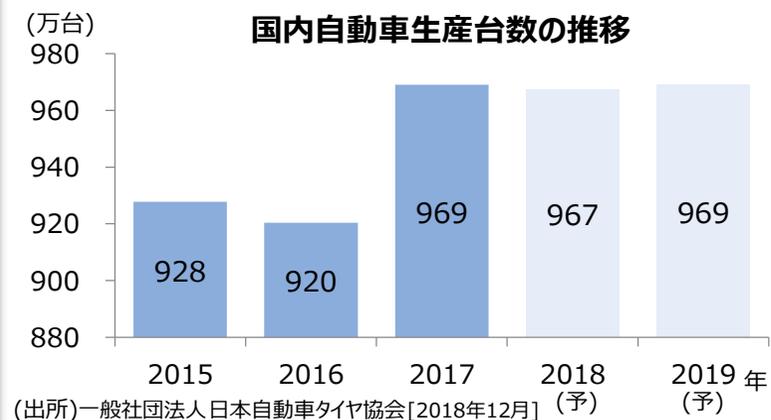
【今後】

ユーザーの海外生産シフトの継続

国内の人口や世帯数の減少

市場全体が中長期的に
拡大することは難しい

戦略が重要



高付加価値製品の開発・拡販

製品ラインナップの拡大に向けた取組み

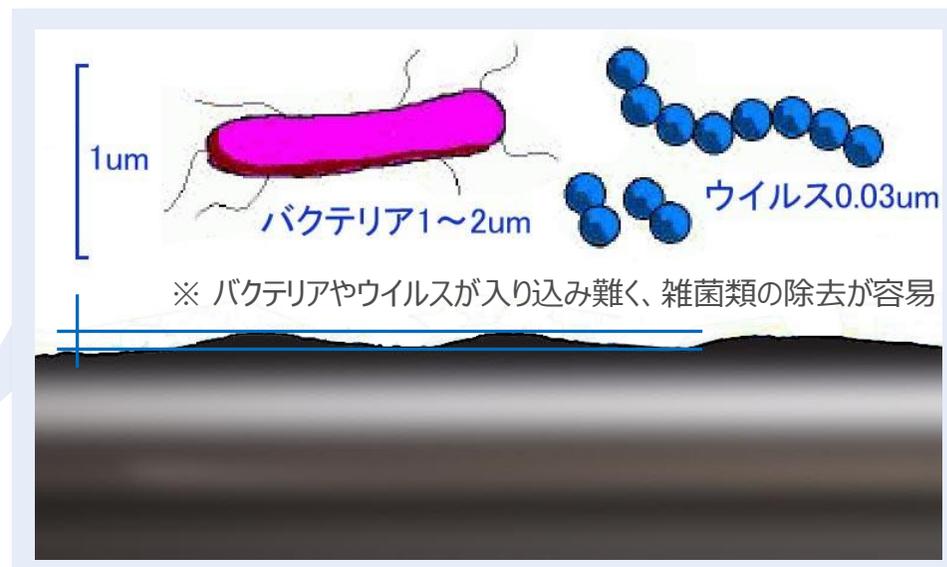
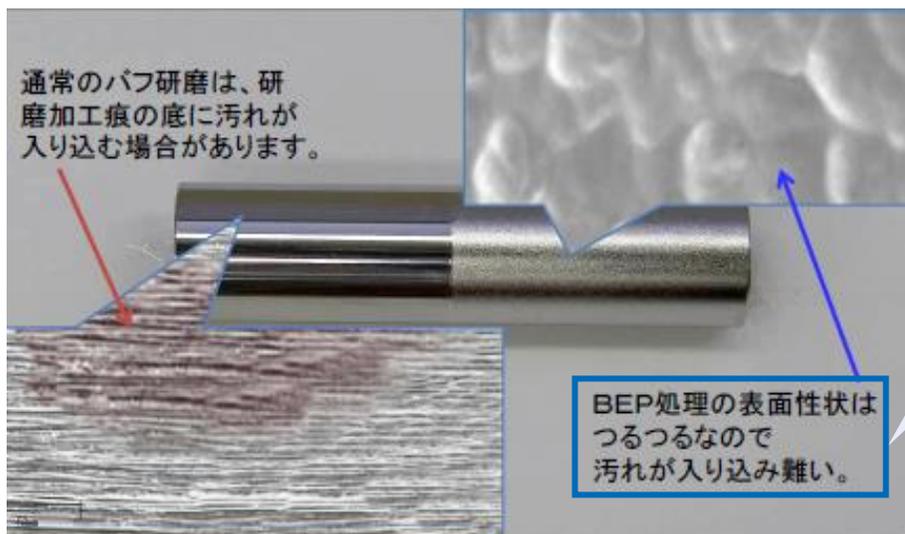
CRE戦略による収益安定性の向上

高付加価値技術

BEP工法*を用いたステンレス製品の生産・拡販

(**B**lind **E**lectro **P**olishing)

* 当社の独自技術で、耐食性、洗浄性、意匠性に優れた表面処理工法
⇒ クリーンで洗浄性が高く、指紋が目立たない



高付加価値技術

BEP工法を用いたステンレス製品の生産・拡販



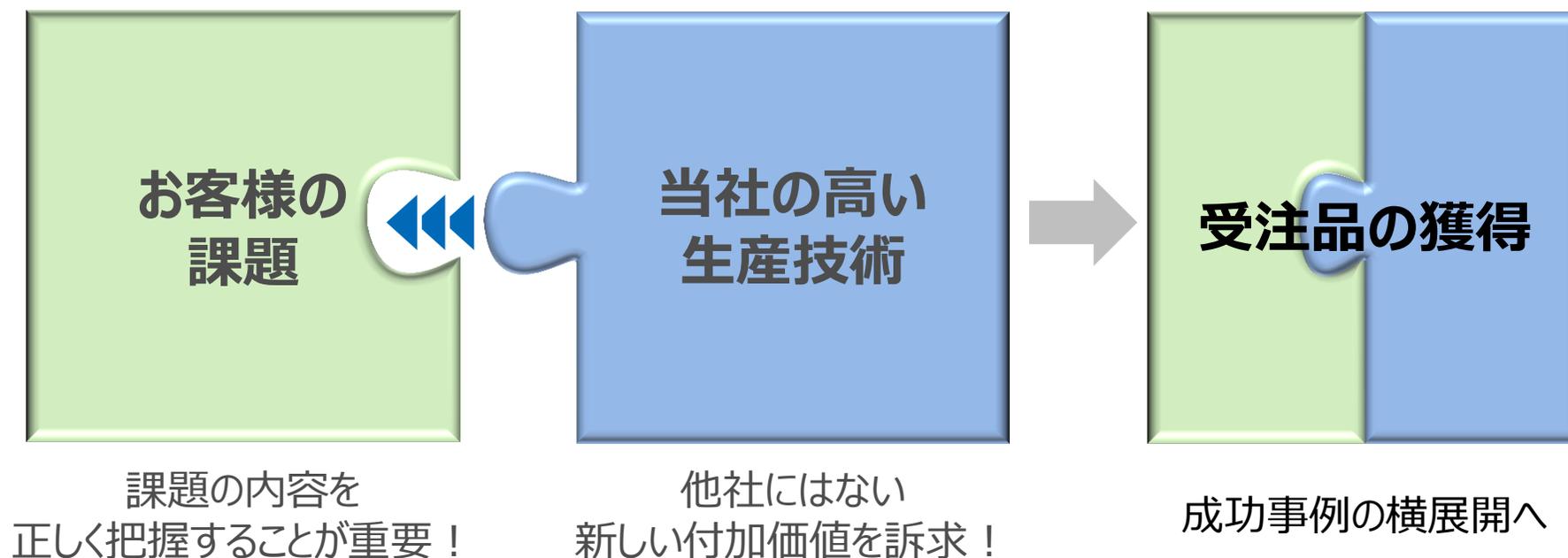
- ・鉄道車両関連（手すり）のほか、他分野への販売も徐々に増加
- ・製品形状も多種多様に



引き続き生産性向上に取り組み、他分野への提案、拡販を目指す

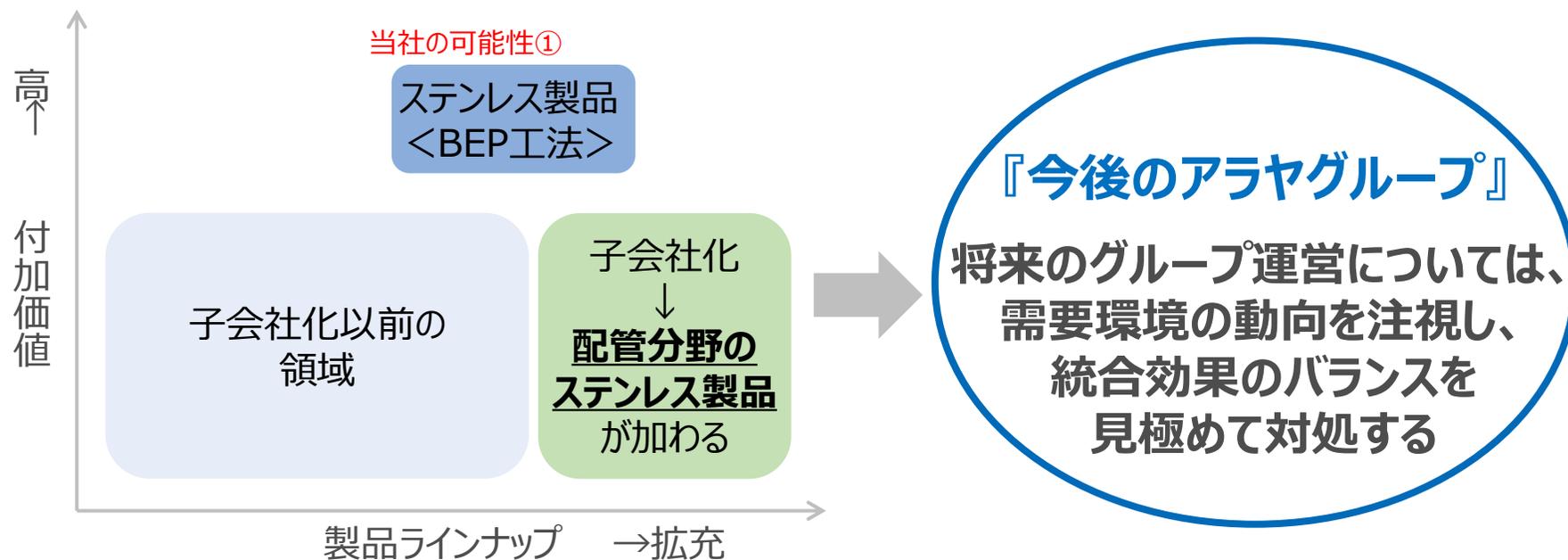
拡販戦略

ニーズを的確にとらえた専門性の高い提案営業に注力



製品ラインナップ拡充

ステンレスパイプ工業（株）子会社化の事例



CRE戦略*

当初計画・狙い

- ・鋼管事業の生産体制を再構築し、効率化を実現
- ・関西工場の事務所・厚生棟の新築
- ・倉庫の新築に伴い、最適な生産と製品供給体制を構築
- ・土地の一部を賃貸して安定収入を確保

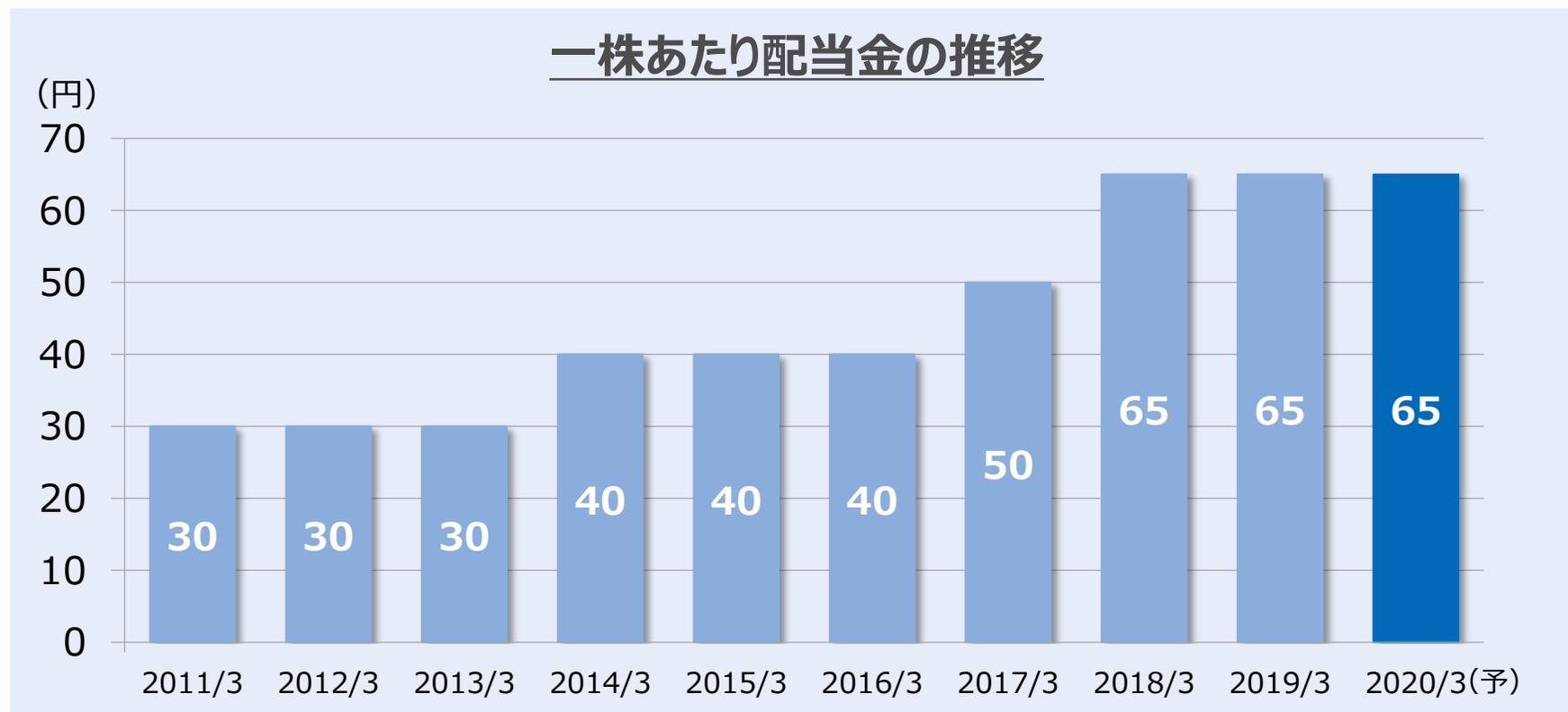
進捗状況

- ⇒設備の再配置を検討、移設
- ⇒事務所・厚生棟の一本化
- ⇒新築倉庫は、2019年5月に完成
- ⇒約50年の事業用定期借地権を設定
2019年6月より賃貸開始

*CRE戦略 …企業不動産 (Corporate Real Estate) の管理、運用に関する企業戦略

【基本方針】

株主への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識し、成長投資とのバランスを勘案した上で、出来る限り安定的な配当を維持する



* 2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施。上記はそれ以前の配当金を修正して表示

<ご参考> 株式情報



株 価 1,371円

時価総額 83億円

単 元 株 100株

配当利回り 4.7%

予想PER 6.4倍

※2019年5月27日現在

株価（月末値）の推移



*2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施。上記はそれ以前の株価を修正して表示



ディスクレマー

本資料は投資家の参考に資するため、新家工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されている業績予想ならびに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。以上を踏まえた上で、投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。